

1	事業名称	チャレンジスキー in INARI			
2	新規・継続	継続	2年目		
3	趣旨	国立信州高遠青少年自然の家に宿泊して、冬の高遠の自然を満喫しながら、地域のスキー場である中央道伊那スキーリゾート（INARI）で、親子でスキーを楽しんでもらう。			
4	期日・期間	平成26年1月18日（土）～19日（日）			
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	100人			
7	共催・協力・後援	なし			
8	参加者人数	105人			
9	参加者類型	累計	男	女	計
		小学生未満	8	9	17
		小学生	19	18	37
		中学生	2	3	5
		大人	20	26	46
10	参加者地域	東京都、愛知県 長野県、山梨県、埼玉県、三重県、神奈川県、滋賀県			
11	参加者分析	家族での参加ということで募集したが、複数家族のグループでの参加も多かった。長野県南信地区と中京方面に広報を行ったため、愛知県と長野県内からの参加者が半分以上となった。他地域からの参加者はほとんどが施設ウェブサイトを見ての参加であった。また、昨年度参加した家族が全体の3割を占めていた。スキー教室参加者の約7割が、初めてスキーをする初心者であった。			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		79.2%	16.7%	4.2%	0.0%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・2日通してスキーが出来るのはいいと思う。 ・初めてスキーをした子どもが「楽しかった」「明日もやりたい!」といい顔で帰ってきたのでよかった。 ・雪道を運転をする自信が無くなかなかスキーに連れて行けなかったのですが不安なく参加できました。 ・昨年も良かったが、指導員の指導もさらに良くなり、一層スタッフの対応がスムーズだったと思う。小さい子どもを連れての参加でしたが、様々な配慮をさせていただき、大変助かりました。 ・来年も是非参加したいです! ・天候が悪く、夜の星空観察ができず残念だった。 ・宿泊棟単位でゲームがやりたい。 			
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスキー場と連携して、子どもに冬の野外スポーツ活動に親しむきっかけをつくることのできた。 ・冬季に利用者が少ない当施設にとって、冬の活動が手軽に体験できるという良さをアピールすることができた。 ・以前の事業で開発した星座観察のノウハウを生かすことで、雪の活動以外にも当所の活動を体験してもらうことができた。 			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー場との連絡を一層密に行う。 ・参加者へのスムーズな受付方法の検討。 ・悪天候のために、代替活動案を考えておく。 			
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・無線機でスタッフ間の連絡を密にとることで、参加者に対して柔軟に対応することができた。各班にボランティアスタッフと職員を補助につけたことで、安全に楽しく活動できたと感じる。 ・参加人数やレンタルスキーの直前の変更にも対応できるよう、スキー場担当者との連絡を綿密に行うことが必要。 			

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	担当（講師等）
1月18日（土）		
9:00	受付	国立信州高遠青少年自然の家職員
9:30	開校式	国立信州高遠青少年自然の家職員
10:00～12:00	スキースクール	INARIスキースクール指導員
12:00～13:00	昼食	
13:00～15:00	スキースクール	INARIスキースクール指導員
15:20	閉校式	国立信州高遠青少年自然の家職員
17:00	ガイダンス・会計	国立信州高遠青少年自然の家職員
18:00～19:00	夕食	
19:00～	フリータイム	国立信州高遠青少年自然の家職員
	・ミニ星座観察会	
	・絵本読み聞かせ	
19:30～21:30	入浴	
1月19日（日）		
7:00～7:20	朝の集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
7:20～8:00	朝食	
8:00～8:40	清掃・荷物整理	国立信州高遠青少年自然の家職員
10:00	伊那スキーリゾート着・解散	

17



開校式の様子



まずは準備運動から・・・



はじめは片足スキーで歩きます



ひとりで滑れるよ！



レッスンの様子



あいにくの天気で星はよく見えませんでした。